

産地パワーアップ事業
都道府県事業評価参考様式

都道府県名 大分県

○ 産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標						事後評価の検証方 法(※定量的な検証 ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考													
					現状			目標								実績												
					年度	面積 単位 又は処理量 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位 又は処理量 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位						年度	面積 単位 又は処理量 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位										
臼杵市 農業再 生協議 会	1	南野津地区	茶	茶の処理加工施設を整備することにより、出荷・加工コストの削減を図るとともに、高品質安定生産に取り組み。	加工コストの10%以上の削減	27	121.4円/kg		30	104.3円/kg	71.9	ha	30	94.6 (円/kg)	88.9	ha	181,500	kg	出勤簿による労働時間及び燃料費、水道費等を集計。荒茶加工実績により荒茶1kg当たり加工コストを検証する。	156.7%	加工コスト10%以上の削減の目標を達成した。今後も引き続き加工コストを削減するよう指導する。	引き続き加工コストの削減に努めるよう指導を行う。						
(玖珠 九重地 域農業 再生協 議会)	1	芦畑	水稲	乾燥調製施設の機能向上により、集出荷コストの削減を図る。	集出荷コストの10%以上の削減	27	37.4円/kg	65	ha	294,000	kg	30	27.7 円/kg	180	ha	420,000	kg	30	30.5円/kg	69	ha	336,763	kg	ライスセンターの収支決算報告書による運送経費の年度別取組【現状】経費10,995円/取組94,000kg【目標】経費11,635円/取組420,000kg【実績】経費10,281円/取組336,763kg	71.1%	乾燥調製施設の機能向上により、集出荷コストの削減に努めるよう指導を行う。	引き続き、集荷量の拡大、経費削減に向けた取組が必要。出穂時期に異常気象発生し稲米の水分含有率は前年と比べて低下した。稲米の品質向上を図るべく、稲米の乾燥機を新たに導入し、乾燥機の使用状況をモニタリングした。乾燥機については、他のライスセンターと連携し、計画作成や作業を分担した。今後、乾燥機と連携し、集出荷量を拡大するよう指導していく。	
	玖珠町 農業再 生協議 会	2	山田	水稲	乾燥調製施設の機能向上により、集出荷コストの削減を図る。	集出荷コストの10%以上の削減	27	34.7円/kg	34	ha	144,600	kg	30	30.5 円/kg	103	ha	220,500	kg	30	30.8円/kg	45.1	ha	220,200	kg	ライスセンターの収支決算報告書による運送経費の年度別取組【現状】経費10,995円/取組144,600kg【目標】経費11,635円/取組220,500kg【実績】経費10,281円/取組220,200kg	92.9%	乾燥調製施設の機能向上により、集出荷コストの削減に努めるよう指導を行う。	出荷量も概ね目標達成しており、引き続き出荷量の拡大が必要。出穂時期に異常気象発生し稲米の水分含有率が低くなったことにより、燃料費や人件費が計画より上回ったため、達成率がやや低くなった。今後、乾燥機と連携し、集出荷量を拡大するよう指導していく。
宇佐市 農業再 生協議 会	3	上佐野 地区	飼料用 米 (SGS)	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大によりコスト削減を図る。	生産コスト10%以上の削減	27	19,426円/60kg	3.2	ha	13,875	kg	30	17,483円/60kg	19	ha	91,536	kg	30	11,305円/60kg	8.8	ha	52,392	kg	作付面積は、當農計画書等で確認。生産コストは青色申告書等で確認【現状】生産費4,492,160円生産量13,875kg【目標】生産費26,672,200円生産量91,536kg【実績】生産費9,871,185円生産量52,392kg	418.0%	生産コスト10%以上削減の目標を達成した。また、規模拡大については農地集積が進まず当初計画した取組面積には到達しなかった。今後も引き続き、中間管理機構を活用する等、規模拡大を目指すよう指導する。	引き続き目標面積を達成するよう指導を行う	
	4	尾永井 地区	飼料用米	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大によりコスト削減を図る。	生産コスト10%以上の削減	27	13,754円/60kg	5.1	ha	31,232	kg	30	12,385円/60kg	9.5	ha	64,608	kg	30	13,240円/60kg	5.6	ha	29,177	kg	作付面積は、當農計画書等で確認。生産コストは青色申告書等で確認【現状】生産費7,159,380円生産量31,232kg【目標】生産費13,336,100円生産量64,608kg【実績】生産費6,438,187円生産量29,177kg	37.5%	出穂期以降、霧照傾向で登熟不足、前年度よりは良かったものの単収は521kg/10aで目標未達成となった。今後も、振興局による研修会等への積極的参加を促し、併せて技術指導を仰ぎ、単収向上・生産コスト削減を目指す指導する。また、規模拡大については農地集積が進まず当初計画した取組面積には到達しなかった。今後も引き続き、中間管理機構を活用する等、規模拡大を目指すよう指導する。	農の出先機関より、事業によって導入した機械の活用とあわせ、気候に左右されない栽培をするよう振興局等の研修会への参加などを促し単収の向上を図り、中間管理機構の活用等を促し、担手の規模拡大を図る。	
	6	乙女新 田地区	飼料用米	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大によりコスト削減を図る。	生産コスト10%以上の削減	27	13,062円/60kg	9.6	ha	61,905	kg	30	11,731円/60kg	17.7	ha	127,082	kg	30	13,185円/60kg	11.2	ha	56,144	kg	作付面積は、當農計画書等で確認。生産コストは青色申告書等で確認【現状】生産費13,476,480円生産量61,905kg【目標】生産費24,847,260円生産量127,082kg【実績】生産費12,337,194円生産量56,144kg	▲ 9.2%	出穂期以降、霧照傾向で登熟不足、前年度よりは良かったものの単収は501kg/10aで目標未達成となった。今後も、振興局による研修会等への積極的参加を促し、併せて技術指導を仰ぎ、単収向上・生産コスト削減を目指す指導する。また、規模拡大については農地集積が進まず当初計画した取組面積には到達しなかった。今後も引き続き、中間管理機構を活用する等、規模拡大を目指すよう指導する。	農の出先機関より、事業によって導入した機械の活用とあわせ、気候に左右されない栽培をするよう振興局等の研修会への参加などを促し単収の向上を図り、中間管理機構の活用等を促し、担手の規模拡大を図る。	
	9	日地 足区	飼料用米	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大によりコスト削減を図る。	生産コスト10%以上の削減	27	22,645円/60kg	9.2	ha	34,219	kg	30	20,380円/60kg	14	ha	57,860	kg	30	16,386円/60kg	4.1	ha	21,573	kg	作付面積は、當農計画書等で確認。生産コストは青色申告書等で確認【現状】生産費12,914,960円生産量34,219kg【目標】生産費19,653,200円生産量57,860kg【実績】生産費5,891,704円生産量21,573kg	276.3%	生産コスト10%以上削減の目標を達成した。また、規模拡大については生産者からWGSの作付け要望が一時的に多かった。今後は飼料用米の作付けを増やすためにも、契約先の開拓を行っている。	事業によって導入した機械の活用とあわせ担手の単収・品質の向上、規模拡大を図る。	

13	岳区	肥料用米	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大によりコスト削減を図る。	生産コスト10%以上の削減	27	18,468円/60kg	3.6 ha	16,419 kg	30	16,620円/60kg	8 ha	40,543 kg	30	13,353円/60kg	3.2 ha	17,218 kg	276.8%	作付面積は、営農計画書等で確認生産コストは青色申告書等で確認【現状】生産費5,053,680円生産量16,419kg【目標】生産費11,230,400円生産量40,543kg【実績】生産費3,831,783円生産量17,218kg	生産コスト10%以上削減の目標を達成した。また、規模拡大については、旧宇佐地区の圃場での刈取りが1月下旬で表の作付が遅れたため、地土に返還したことや産地集積が進まず当初計画に至らなかった。今後は旧院内地区の圃場での規模拡大を目指すよう指導する。	事業によって導入した機械の活用とあわせ担い手の単収・品質の向上、規模拡大を図る。
----	----	------	---	---------------	----	--------------	--------	-----------	----	--------------	------	-----------	----	--------------	--------	-----------	--------	---	--	--

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)												補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考								
						現状				目標				実績											事業実施前年度		目標年度					
						年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積								生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト
国東市農業再生協議会	1	国東地区	トマト	生産技術高度化施設の導入により、トマトの周年・計画生産と高品質安定生産、産地強化に取り組む。	販売額の10%以上の増加(464%以上の増加)	27	69,700,000円	2.6 ha	201,400 kg	346円/kg	30	393,282,000円	5.77 ha	603,542 kg	652円/kg	30	22,772,176円	5.33 ha	507,724 kg	441円/kg	27	トマト338	トマト1,015	229,868,822円	133,206,929円	96,661,903円	出荷伝票や申告書類等の販売額が確認できる書類に基づいて、実績の検証を行う。	49.5%	コナジロミが導入されたリース農機の導入による燃費の少く、トマトの収穫量の増加により、販売額が増加することとなり、計画通りの収穫が確認できず目標達成できなかった。今後引き続き目標達成可能な取り組みを実施する。	産地の中心で作付面積が大きい地域主体に代わり、僻地の導入も、大きく必要がであった。また、地域集積が進まず、上元重産組合が構成成員の高齢化により、計画通りの収穫が確認できず目標達成できなかった。今後引き続き目標達成可能な取り組みを実施する。		
宇佐市農業再生協議会	5	下乙女地区	麦	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	販売額の10%以上の増加	27	2,099円/10a	68.9 ha	201,400 kg	346円/kg	30	2,326円/10a	81.1 ha	61.5 ha	6.823円/10a	30	6.823円/10a	61.5 ha	108,931 kg	37円/kg	27	トマト338 ミニトマト653	トマト1,015 ミニトマト1,043	4,059円	1,400円/kg	0.568円/kg	1.105円/kg	販売額はJA出荷伝票等で確認【現状】販売額1,446,135円/作付面積68.9ha【目標】販売額1,886,220円/作付面積81.1ha【実績】販売額4,196,183円補正前2,496,183円補正後作付面積61.5ha	863.4%	販売額の10%以上の増加の目標を達成した。また、規模拡大については地主と小作りの折合いがつかず、返還した圃場等もあり当初計画した取組面積には到達しなかった。今後は、中間管理機械を活用する等、規模拡大を目指す。	事業によって導入した機械の活用とあわせ担い手の単収・品質の向上、規模拡大を図る。	
	7	九兵衛新田	麦	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	販売額の10%以上の増加	27	3,104円/10a	11.8 ha	17,440 kg	1,473円/kg	30	3,423円/10a	16 ha	15.8 ha	5,444円/10a	30	5,444円/10a	15.8 ha	5,897 kg	37円/kg	27	トマト338 ミニトマト653	トマト1,015 ミニトマト1,043	6,671円	1,400円/kg	1.667円/kg	0.568円/kg	作付面積は、営農計画書等で確認販売額はJA出荷伝票等で確認【現状】販売額366,240円/作付面積11.8ha【目標】販売額547,680円/作付面積16ha【実績】販売額860,189円補正前1,053,970円補正後作付面積15.8ha	1118.2%	販売額の13%以上の増加の目標を達成した。また、規模拡大については地主と小作りの折合いがつかず、返還した圃場等もあり当初計画した取組面積には到達しなかった。今後は、中間管理機械を活用する等、規模拡大を目指す。	事業によって導入した機械の活用とあわせ担い手の単収・品質の向上、規模拡大を図る。	
	8	南地区	麦	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	販売額の10%以上の増加	27	3,413円/10a	40.4 ha	54,637 kg	1,589円/kg	30	3,759円/10a	59 ha	35.8 ha	5,358円/10a	30	5,358円/10a	35.8 ha	13,740 kg	37円/kg	27	トマト338 ミニトマト653	トマト1,015 ミニトマト1,043	6,814円	1,400円/kg	0.630円/kg	6.814円	作付面積は、営農計画書等で確認販売額はJA出荷伝票等で確認【現状】販売額1,079,932円/作付面積38.4ha【目標】販売額1,593,060円/作付面積48.8ha【実績】販売額1,918,035円補正前2,439,511円補正後作付面積38.8ha	982.9%	販売額の10%以上の増加の目標を達成した。また、規模拡大については地主と小作りの折合いがつかず、返還した圃場等もあり当初計画した取組面積には到達しなかった。今後も引き続き、中間管理機械を活用する等、規模拡大を目指す。	事業によって導入した機械の活用とあわせ担い手の単収・品質の向上、規模拡大を図る。	
	10	上元重地区	麦	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	販売額の10%以上の増加	27	2,967円/10a	36.4 ha	23,637 kg	4,382円/kg	30	3,264円/10a	48.8 ha	22.9 ha	7,097円/10a	30	7,097円/10a	22.9 ha	23,888 kg	37円/kg	27	トマト338 ミニトマト653	トマト1,015 ミニトマト1,043	6,142円	1,400円/kg	0.568円/kg	0.630円/kg	1.105円/kg	作付面積は、営農計画書等で確認販売額はJA出荷伝票等で確認【現状】販売額1,079,932円/作付面積38.4ha【目標】販売額1,593,060円/作付面積48.8ha【実績】販売額1,918,035円補正前2,439,511円補正後作付面積38.8ha	1069.0%	販売額の10%以上の増加の目標を達成した。また、規模拡大については地主と小作りの折合いがつかず、返還した圃場等もあり当初計画した取組面積には到達しなかった。今後も引き続き、中間管理機械を活用する等、規模拡大を目指すよう指導する。	事業によって導入した機械の活用とあわせ担い手の単収・品質の向上、規模拡大を図る。
	11	宮地区	麦	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	販売額の10%以上の増加	27	3,495円/10a	24.9 ha	1,375 kg	3,400円/kg	30	3,895円/10a	32.9 ha	36 ha	5,301円/10a	30	5,301円/10a	36 ha	14,926 kg	37円/kg	27	トマト338 ミニトマト653	トマト1,015 ミニトマト1,043	6,145円	1,400円/kg	0.568円/kg	6,145円	作付面積は、営農計画書等で確認販売額はJA出荷伝票等で確認【現状】販売額870,164円/作付面積24.9ha【目標】販売額1,291,025円/作付面積32.9ha【実績】販売額1,908,277円補正前2,212,105円補正後作付面積27.9ha	662.5%	販売額の10%以上の増加の目標を達成した。	引き続き目標面積を維持達成するよう指導を行う	

12	苅宇田地区	麦	大型機械を導入し作業効率を上げ、適期作業による単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	販売額の10%以上の増加	27	2,011円/10a	17.4	ha	ニシ/約 2,228 トヨ/カゼ 0 チゴ/イ ミ 14,434 農林61 号 0 チメ/カ オ 0	kg	チゴ/イ ミ 21 農林61 号 0 チメ/カ オ 21	円/ kg		30	2,310円/10a	20	ha	ニシ/約 21 トヨ/カ ゼ 17 チゴ/イ ミ 21 農林61 号 0 チメ/カ オ 21	円/ kg		30	7,329円 /10a	23.3	ha	ニシ/約 11,084 トヨ/カ ゼ 27 チゴ/イ ミ 10,164 農林61 号 0 チメ/カ オ 60,270	kg	ニシ/約 37 トヨ/カ ゼ 27 チゴ/イ ミ 15 農林61 号 0 チメ/カ オ 19	円/ kg		ニシ/ハ 21 トヨ/カ ゼ 17 チゴ/イ ミ 21 農林 21 チメ/カ オ 21	円	ニシ/ハ 37 トヨ/カ ゼ 27 チゴ/イ ミ 15 農林 15 チメ/カ オ 19	円	チゴ 1,400 ニシ/ハ 0,568 ミナミノ カオ 1,105	7,347	作付面積は、営農計画書等で確認 販売実績はJA出荷伝票等で確認 【現状】販売額349,902円/作付面積17.4ha 【目標】販売額462,000円/作付面積20.0ha 【実績】販売額1,707,689円補正後作付面積23.3ha	1784.6%	販売額の10%以上の増加の目標を達成した。	引き続き目標面積を維持達成するよう指導を行う	
14	高森中央地区	麦	高性能機械を導入し、品質向上による高収益化と乾燥調製作業の効率化により作付面積の拡大を図る。	販売額の10%以上の増加	27	2,241円/10a	22.8	ha	ニシ/約 0 トヨ/カ ゼ 30,052 チゴ/イ ミ 0 農林61 号 0 チメ/カ オ 0	kg	チゴ/イ ミ 21 農林61 号 0 チメ/カ オ 21	円/ kg		30	2,835円/10a	25	ha	ニシ/約 21 トヨ/カ ゼ 17 チゴ/イ ミ 21 農林61 号 0 チメ/カ オ 21	円/ kg		30	7,569円 /10a	24.9	ha	ニシ/約 50,939 トヨ/カ ゼ 27 チゴ/イ ミ 15 農林61 号 0 チメ/カ オ 60,270	kg	ニシ/約 37 トヨ/カ ゼ 27 チゴ/イ ミ 15 農林61 号 0 チメ/カ オ 19	円/ kg		ニシ/ハ 21 トヨ/カ ゼ 17 チゴ/イ ミ 21 農林 21 チメ/カ オ 21	円	ニシ/ハ 37 トヨ/カ ゼ 27 チゴ/イ ミ 15 農林 15 チメ/カ オ 19	円	ニシ/ハ 0,568	4,299	作付面積は、営農計画書等で確認 販売実績はJA出荷伝票等で確認 【現状】販売額510,884円作付面積22.8ha 【目標】販売額708,750円作付面積25.0ha 【実績】販売額1,884,743円補正後作付面積24.9ha	346.5%	販売額の10%以上の増加の目標を達成した。また、規模拡大については農地集積が進まず当初計画した取組面積にはわずかに到達しなかった。今後も引き続き中間管理機を活用する等、規模拡大を目指す。	事業によって導入した機械の活用とあわせて担い手の単収・品質の向上、規模拡大を図る。	
豊後高田市農業再生協議会	豊後高田地区	花き(スイートピー他)	生産技術高度化施設及び輸出貯蔵施設を整備することにより、スイートピーを中心とする花きの高品質・周年安定生産と産地強化に取り組む。	販売額の14.6%増	27	総販売額 92,733,322 円								30	総販売額 106,317,000 円	3.7	ha					30	81,371,950 円	3.7	ha	2,764,680 本	29.4	円		31.5	円	31.3	円	1.01	82,185,670円	▲ 77.6%	農産物の出荷伝票や販売実績により検証を行う。	主要品目であるスイートピーについては、12月中旬～1月上旬にかけて販売による目標達成のため、在場が減少し、出荷が滞りやすくなるなど、販売において、農協や関係機関との連携により、出荷調整を図ることなどが実施し、目標達成に繋がらなかった。	天候不順と単収の低減により販売額が伸び悩んだ。栽培指導の徹底と販促により目標達成を目指す。文書による改善指導も実施	
杵築市農業再生協議会	山香地区	茶	農作物被害防止施設(防霜施設)の整備により、高品質な茶葉生産と安定供給に取り組む。	販売額の10%以上の増加(88.1%の増加)	27	総販売額 47,453,000 円								30	総販売額 89,304,000 円	41.2	ha					30	90,595,110	58.3	ha	112,729 kg	804	円/ kg									103.1%	総販売額はH27比191%となり、目標を達成した。	引き続き総販売額増加に向け指導を行う。	
玖珠九重地域農業再生協議会	飯田	水稻	乾燥調製施設に光選別機や香味計を導入し、販売単価の向上を図る。	販売額の10%以上の向上	27	68,335 円/10a	179	ha	550,410	kg	222.2	円/ kg		30	93,860 円/10a	200	ha	741,000	kg	253.3	円/ kg		30	94,770円 /10a	166	ha	618,510	kg	254.4	円/ kg		219.6	円/ kg	261.5	円/ kg	0.840	79,607 円/10a	44.2%	【現状】生産額179万8千円 【目標】生産額200万円 【実績】生産額200万円 【現状】生産額179万8千円 【目標】生産額200万円 【実績】生産額200万円	事業によって導入した施設の活用とあわせて収量・品質の向上、販売単価の向上を図る。
中津市農業再生協議会	鶴居	麦	大型機械を導入し作付面積の拡大、単収・品質の向上を図り高収益化を図る。	販売額の10%以上の増加	27	4,148 円/10a	58.8	ha	トヨノ カゼ 52,952 ミナミ ノカオ リ 56,465 チクゴ イズミ 3,382	kg	トヨノ カゼ17 ミナミ ノカオ リ26 チクゴ イズミ 21	円/ kg		30	5,184円 /10a	71.8	ha	トヨノ カゼ17 ミナミ ノカオ リ26 チクゴ イズミ 21	円/ kg		30	5,884円 /10a	63.6	ha	トヨノ カゼ 38,752 ミナミ ノカオ リ 130,331 チクゴ イズミ 31,999	kg	トヨノ カゼ27 ミナミ ノカオ リ17 チクゴ イズミ 15	円/ kg		トヨノ カゼ17 ミナミ ノカオ リ17 チクゴ イズミ 21	円	トヨノ カゼ27 ミナミ ノカオ リ17 チクゴ イズミ 15	円	トヨノ カゼ 0,630 ミナミ ノカオ リ1,529 チクゴ イズミ 1,400	7,420円 /kg	4,718,844円補正	315.8%	販売額については、10a当たり10%以上の販売額の増が期待された。産地集積については、産地集積の進捗がなかったこと、昨年度で集積が完了したため、本年度の面積拡大が達成できなかったこと、単収が減少したことから、目標達成が出来なかった。今後、集積の進捗を促進し、目標達成を目指す。	引き続き目標面積を維持達成するよう指導を行う	